



おにぎり通信

2016年2月6日(土曜) 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！私たちは毎週土曜日に、四ツ谷周辺と銀座、日比谷公園、東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

1月中旬からの寒さに伴い、インフルエンザの流行が急速に進んでいます。インフルエンザに主に感染するのは、咳やくしゃみの際に口から出る小さなしぶき(飛沫)による飛沫感染です。したがって、飛沫を浴びないようにすればインフルエンザに感染する機会は大きく減少します。

逆に、咳・くしゃみが出る時は、他の人にうつさないためにマスクを着用し、マスクを持っていない場合に咳・くしゃみをする時は、ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い、他の人から顔をそむけて1m以上離れましょう。また、手のひらで咳やくしゃみを受け止めた時はすぐに手を洗いましょう。

☆1月25日(月) 福祉行動報告

Aさん(60代) 千代田福祉に生活相談に行き、ご自宅に帰られました。

次回の福祉行動:2月8日(月)

東京駅丸の内北口地下に朝8時30分までに集合してください。

喫煙所横、コンビニの並びの赤富士の絵のところに「おにぎり通信」を持った者が待機しますので、声をかけてください。病気やケガの治療を希望される方や体を休めたい方と一緒に「福祉事務所」や「聖イグナチオ生活相談室」まで同行します。福祉行動は原則、毎週月曜日に行います。福祉行動は、参加される方が、ご自身の希望をご自身の言葉でハッキリと福祉事務所に伝えることで成り立ちます。

最寄の福祉事務所と生活相談室

中央区福祉事務所...中央区築地 1-1-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所...千代田区九段南1-2-1 3階

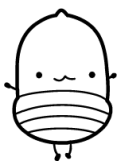
聖イグナチオ生活相談室...千代田区麴町6-5-1

【生きがいについて】

精神科医で、らい病（ハンセン病）の療養所である長島愛生園に長く勤務し、美智子皇后の心の主治医ともいわれた神谷美恵子という人がいました。神谷さんは、「生きがい」の研究で有名です。彼女が生きがいに関心を持ったのは、愛生園という世間から切り離され共通の病気に苦しむ同じ条件の中で、ある人は生きがいが感じられなくて悩み、ある人は生きる喜び、生きがいにあふれていることを見出したからでした。

神谷さんは、ある死刑囚の手記を紹介しています。「自由な世界では、ともしれば享乐的な交際や遊びに夢中になりがちで、静かにものを見つめたり、自然を味わうというような気分には、なかなか耐えられないものです。私たちには信仰が、芸術が、俳句が、自然が与えられているのです。空の青さ、日の暖かさ、空気のすばらしさ、そして信仰や俳句を通して人の真実の情を静かに深く見つめ味わい、感謝のうちにそれを身にしみとおらせることができます。信仰、俳句、自然、これらのものは決して私たちを見捨てない。たとえ全てを信ずることができなくなっても、この世界だけは最後の瞬間まで信頼できるでしょう。」

多くの方は幸か不幸か現実の生活の中で自分の居所を与えられ、毎日の務めや責任を負わされ、人や物事から一応必要とされて忙しく暮しており、それが生きがいにもなりますが、そうした役割は失われる可能性があります。これに対して、神谷さんは言います。「（死刑囚が伝えるような精神的な生きがいこそ）全ての人に開かれている、まじり気のない喜び。人間の生命そのもの、人格そのものから湧き出るもの。このようなことをわかる人は、深い苦悩を一度は通ったことのある人に限られ、結局、人間の心の本当の幸福を知っている人は、世に時めいている人や、所謂幸福な人種ではなく、かえって不幸な人、悩んでいる人、貧しい人の方が、人間らしい素朴な心を持ち、人間の持ちうる、朽ちぬ喜びを知っていることが多い。」こうした精神的な生きがいになるものとして神谷さんが挙げているのは、詩や俳句などの文芸・絵画の創作や、深く考え新しい何かを見つけること、自然を味わうこと、他人への愛、宗教などです。



おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日のうちにお召し上り下さい。また、お1人1個でお願いします。

よつや なかま れんらくさき
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先：080-7795-8535